

# サンフレンズだより

「友愛の灯協会感謝のつどい」  
が開催されました

～ありがとうの思いを込めて～

No.56 2010.7.21  
発行：社会福祉法人 サンフレンズ  
編集：法人本部 事務局  
〒167-0023  
杉並区上井草3-33-10  
03-3394-9833



<感謝のつどいに参加された方々>

サンフレンズにとっての『親』とも言える「社団法人 友愛の灯協会」が今年3月、解散しました。これまでの先駆的開拓的な役割は終え、残る事業については、2法人が受け継ぐことになりました。解散はとても残念ではありますが、発展的解散です。6月20日、友愛の灯協会感謝のつどいが開催されました。

志磨陽子会長は、「皆様とともに、この杉並で活動を広げてきたことに喜びを感じています。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。」と挨拶されました。友愛の精神なのでしょう、会長はじめ、友愛の灯協会の関係者の方々が『感謝』『感謝』と何度も何度も仰っていたのが印象的でした。

来賓の方々は、「友愛の灯協会は幕を閉じ卒業となりましたが、新しい命がこれから発展していくことを願います。」「発展的解散だから灯火が消えることはないでしょう。」と今後に期待するメッセージが寄せられました。

当法人の藤山邦子理事長職務代理は「友愛の灯協会の精神は、サンフレンズが引継いでまいります。」と力強く宣言しました。

プログラムの途中には、スライドを使って、友愛の灯協会の活動32年を振り返りました。当時の辛かったこと、苦しかったこと、楽しかったことが思い出されたのでしょうか、会場は笑いあり、涙あり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

感謝のつどい実行委員長の岡本波津子さんは、友愛の灯協会は、

“人が好き 人を愛し 心をつなぐ  
そして走る

気持ちを受け止め また走る

そこに、お年寄り

障害をもった方々がいるから……”

32年もの間、走り続けることができたと教えてくださいました。

そんな友愛の灯協会の理念を受け継ぐ2つのNPO法人、友愛ヘルプと友愛サポートセンターは、新しい時代に即した地域福祉の創造に尽力されることでしょう。

そして、私たちサンフレンズもまた原点に立ち、市民ニーズに基づく法人運営に取り組んでまいります。そして、いつか親孝行ができたら・・・、友愛の灯協会の皆さん、長い間、本当にありがとうございました。



<友愛の灯協会 清算人>

# 評議員・相談役紹介

## 評議員

たかはし ふみこ  
高橋 史子



友愛の灯協会のデイホーム、ヘルプ事業との出会いで地域福祉を知り職員になりました。今もサンフレンズ永福支援センターでケアマネの仕事が続け現場の醍醐味を感じています。ご利用者、ご家族の気持ちに添うサンフレンズであって欲しいと願っています。

## 評議員

さきはら のりこ  
笹原 典子



法人設立から16年、幾多の試練を乗り越えてご利用者を第一に発展してきたサンフレンズに心からのエールを送ります。職員皆様の温かい笑顔と態度をいつも嬉しく思っております。今後も初心を忘れずに勤められますように。

## 評議員

おだ ひろこ  
織田 宏子



上井草園の開設と同時に杉並・老後を良くする会の理念のもとに活動をスタートさせたサンフレンズ応援団の一人として、納涼祭や外出のボランティアを主にしています。今後も利用者さんと楽しみながら、職員の方々に協力して活動を続けたいと思っています。

## 評議員

まつい しげお  
松井 茂夫



平成10年に満88歳で上井草園に入所した母は、今年100歳を迎えることが出来ました。これもサンフレンズ職員の方々の献身的な介護の賜物です。介護の知識に乏しい私ですが、評議員として利用者と職員の為になるよう微力を尽くしてまいりたいと思っております。

## 評議員

いしげ えいいち  
石毛 栄一



友愛の灯協会とサンフレンズと合わせて22年があつという間に過ぎました。生きるのが大変な時代です。だからこそ福祉の心を再確認していく必要があります。気力・体力が落ち込む前に、サンフレンズの若い力が大きく伸びるよう支えて行きたいと思えます。

## 評議員

なかた ふみこ  
中田 芙美子



サンフレンズに訪問介護の事業が加わり「住みなれた我が家で最後まで」の望みが叶えられると期待しています。人材不足など問題は山積ですが、在宅と施設の両支援が充実することで安心して高齢期を迎えられます。微力ながらお手伝いしてまいります。

前号の役員（理事・監事）に引き続き、今号では専任の評議員・相談役をご紹介します。

### 評議員

かわべ たかし  
河邊 尚之



私の父は、こちらの在宅介護のお世話になり、住み慣れた家で家族と共に自分らしく過ごす事ができ幸いでした。病状や家庭環境を考慮した選択肢があり、その人らしい生き方ができるようお手伝いするサンプレンズであり続けて欲しいと思います。

### 評議員

はやし かずこ  
林 知子



「生きがい」とは生きる張り合い。生きていて良かったと思えることです。サンプレンズで暮らす方々が、生きていて本当に良かったと思える環境づくりのお手伝いができることを願っています。

### 評議員

よつはし あきこ  
四ツ橋 昭子



評議員になり委員の皆様のサンプレンズに対する思いの強さを感じております。民生委員の私に出来る事は、地域の方々とパイプ役に徹することだと思います。「老後を安心して最後までこの地で過ごせるよう」微力ながら皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

### 評議員

よしだ なおこ  
吉田 直子



サンプレンズは、これまで多くの地域の皆様に生まれ、杉並の福祉活動に大きな役割を果たしてまいりました。これからも「杉並の福祉文化の拠点となる」「誰もが安心して暮らせる街づくり」という願いを実現・発展させるため、評議員としてできる限りお役に立ちたいと思っております。

### 相談役

てらやま くみこ  
寺山 久美子



相談役をおおせつかっている寺山久美子です。リハビリテーション科学と作業療法学が専門です。昨年4月より大阪河崎リハビリテーション大学副学長です。週3日は大阪で相変わらずの「時間貧乏」ですが、長年杉並区民でもありますので、ご活用ください。

### 相談役

おかもと はつこ  
岡本 波津子



法人設立以来満16年、理事として微力ながら職員と共に、ひたすらご利用者の生活向上に盡力してきた感がありますが、今年4月から相談役をお受けする事になり、これからは広い視野で、杉並区におけるサンプレンズの社会的使命を追求していきたいと思っております。

# サンフレンズと地域のきずなを深めるために

法人の事業目的達成のため、いつも協力・援助してくださる「サンフレンズ後援会」、今年もまた、青木利元会長から応援メッセージが届きました。

今年度のサンフレンズ後援会は、①職員の資質向上のための支援（具体的には職員の研修費用の負担）、②地域の人たちの相互理解と介護保険システムの発展のためのフォーラム開催をサンフレンズと共催する計画を立てています。

これら二つの支援プログラムは、後援会がこれまでの歩みの中で生みだしてきた無理のないごく現実的で有用な支援策です。

社会福祉法人が後援会を設立する最も一般的な理由は、財政逼迫に備えるための資金を確保することであると聞いていますが、私の知る限り、後援会活動というのは概して低調で、開店休業のところが多いようです。

2000年に公的介護保険が導入されて以来、この制度に基づく事業体は、社会保険制度という国の定めた料金体系の枠の中でサービスの選択を消費者の判断に委ねるようになっていきます。各事業体にとっては、マネジメントの巧拙が問われるようになり、財政的な自立が最重要課題になったのです。こうした状況の中で、後援会がもし事業体の赤字補てんのために資金を確保することだけを行うようになれば、その事業体は自立力を失ったひ

弱で過保護な組織になってしまうでしょう。後援会が低調になるのも無理はありません。

私たちの後援会ももっとも知恵を使わなければなりません。事業体自体も自らを強くするために又は質的向上を図るために賢く後援会を活用しなければなりません。

どうすればサンフレンズと地域とのきずなを深めることができるのか。そのためにサンフレンズと後援会は何をすべきなのか。アピール力のあるプログラムを開発できないのか。例えば、福祉と文化・芸術を組み合わせたと楽しく老若男女が参加できるようなプログラムは考えられないのか。魅力的なプログラムができれば、そのための資金集めの活動も弾みがつくのではないかと。

今年度は夢を持ってそれを共に考えていきたいと思えます。



## <サンフレンズ後援会入会のお願い>

地域の皆様方のご要望に添ったサービスを目指し日々努力を重ねる法人に「暖かいお心のひとしづく」をお寄せください。

個人会員：一口 2,000 円以上

団体会員：一口 10,000 円以上

同時に、ご寄付もお待ち申し上げます。

感謝録：サンフレンズ後援会にご寄付、会費を納入くださった方々に、感謝を申し上げます。

期間：2009年4月1日～2010年3月31日まで（あいうえお順に掲載させていただきます）

**ご寄付をいただいた方：**岩崎通信機消費生活協同組合様・内田祐介様・江村三冬様・大西久江様・金子輝子様・笹原典子様・杉並・老後を良くする会様・前田達夫様・まるみ食品中島太吉様（3団体6名）

**個人会費を納入していただいた方：**青木利元様・秋元章宏様・伊藤弘武様・伊藤双葉様・伊藤裕子様・今西健二様・岩本昭彦様・恵美加子様・江村三冬様・大友信勝様・大西久江様・大場宏一様・岡本利子様・岡本波津子様・小澤久子様・織田宏子様・金子功子様・金平輝子様・川合美智子様・河潤之介様・河周子様・河邊尚之様・きくや青果店様・岸野恵子様・桑原七重様・小泉やすお様・河内十三子様・小坂明子様・小林五十鈴様・小林牧子様・小松原昭一郎様・笹原典子様・佐藤充弘様・篠田阿津子様・志磨咸也様・志磨陽子様・清水わか子様・下元志津子様・白川すみ子様・高月三世子様・高橋勤様・高橋史子様・田寺儉治様・田寺徳治様・田寺由紀様・田邊紀行様・照沼富夫様・鳥井祥子様・中島太吉様・中田芙美子様・中林起く代様・中村夫美子様・中山直芳様・中山道子様・仁平正夫様・八島年子様・羽場令人様・福田恭子様・藤山邦子様・伯耆原功様・前田達夫様・間世田美代様・松井茂夫様・松尾廣高様・村野井正弥様・山崎和一様・山崎眞美様・山住美津子様・山本智様・横田英夫様・吉岡順一様・四ツ橋昭子様・若山大地様（計73名）

**団体会費を納入していただいた方：**新しいホームをつくる会様・井荻地区民生委員協議会様・上井草商店街振興会様・杉並・老後を良くする会様・ももの会様・友愛の灯協会様（6団体）

# サンフレンズ リレーコラム

今回より新連載『サンフレンズ・リレーコラム』がスタートします。

今年1月に開催した「市民のつどい」では、介護に対する様々なご意見・ご質問が寄せられ、杉並で自分らしく生きるための福祉に対する皆様の思いをあらためて知りました。

そこで、皆様の知りたいことをサンフレンズが展開するサービス事業ごとに可能な限りお応えできればと考えました。また、サービス情報の提示やサンフレンズの今後の展望などもあわせて発信していきたいと思えます。

第1回目は地域包括支援センター統括所長の土屋俊彦が、日頃感じていること等をお伝えします。

## 介護保険の検証 —介護者支援について思うこと—

地域包括支援センターでは、在宅でとても重度の高齢者を介護している家族と向き合う機会がたくさんあります。「同居家族がいる際のヘルパー派遣とサービスの利用制限」、「特養の入所ができない」、「入院施設が減っている」、「療養病床の削減」などの背景を考えると、「介護の社会化」を目指して介護保険制度が導入されましたが、現実には家族が介護を担う時代に逆戻りしているようにケアマネジャーとして感じます。特に最近では、入所を希望しても、なかなか叶わず、日々の介護に疲れ、精神的に孤立している方の相談を受けることが多くなっています。お話を受け止め、必要があればサンフレンズでも実施している家族会や介護者サポートを展開している市民団体、行政の介護相談の窓口を紹介しています。

日本の介護保険は、介護が必要な人へのサービスが中心で、まだまだ介護者支援は海外に比べて不十分だといわれています。1995年にイギリスで制定された「介護者法」では、介護者が重要な役割を果たしているとして、所得保障やカウンセリングが行われているそうです。サンフレンズも今後、関係団体「新しいホームをつくる会」が展開している介護者支援サービスなどを参考にしながら、行政や関係機関と検討をすすめる必要があると思えます。

それ以上に感じることは、介護保険サービスの質と家族介護の質の問題です。在宅介護による過度なストレスで倒れそうな介護者には、ケアマネジャーとしてショートステイなどの利用を勧めますが、「ショートステイに預けると、介護の質が下がる」と拒む方が少なくありません。あわせて家族会や相談窓口にお誘いしても、本当に深刻な人は、自分からは訴えてこない現実があります。サンフレンズは、利用者サービスの向上を進めながら、サービス利用を躊躇し、ひとりで介護を抱えている介護者に、何ができるのかを考えなくてはなりません。

現在、サンフレンズでは、新しい事業として「恩おくりサービス（仮称）」の実施に向けた検討を重ねています。広く地域住民を対象に、電球の交換や買い物などで外出する間の高齢者の見守りなど、ちょっとした困りごとを「お互い様」の精神で解決していく、地域のネットワークづくりにもつながるサービスです。このサービスが介護者の窮状を少しでも解決し、介護者が楽になれる選択肢になるようにしたいと思います。

## 情報コーナー ●●●●●●●●●●介護者の皆様へ●●●●●●●●●●

- ・杉並区内15カ所に、介護者同士が集まって悩みを相談したり、情報交換する「介護者の会」があります。「NPO法人 新しいホームをつくる会」では、認知症高齢者に対する見守りや介護者の悩み相談などを行う「安らぎ支援事業」を行っています。最寄のケア24または杉並区高齢者在宅支援課（TEL：03-3312-2111）までお問い合わせ下さい。
- ・NPO法人「介護者サポートネットワークセンター・アラジン」では、電話や訪問による介護の悩み相談のほか、介護者が集う場所作りやサポーターの養成を行っています。

TEL：03-5368-1955（火～金 11:00～18:00） ホームページ：<http://www12.ocn.ne.jp/~arajin/>

## 法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2010年5月1日から6月30日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》 有福雄様・内藤美恵子様・小林弘様・大西久江様・今井弘様・匿名希望2名

《物品等》 植田周子様・有福雄様・安藤豊様・高橋葉子様・橘フミ子様・染谷和子様・濱欣治様  
南雲和子様・本橋素子様・匿名希望16名

# ボランティア紹介 第42回

## ギターとハーモニカの一人二役



＜いつも楽しみな松島弘行さんの伴奏＞



＜歌の会に彩りを添える花の写真＞

今回ご紹介する松島弘行さんは、「杉並ボランティア・地域福祉推進センター」に所属しています。色々な施設でこれまで700回以上に渡り“どれみちゃん歌の会”という名で活動をしてきました。センターで上井草園のことを知り、直接連絡をいただいたのがきっかけで、半年程前より上井草園での活動が始まりました。毎月1回、30分から1時間ほど、松島さん一人でギターとハーモニカを使って歌の伴奏をしてくれます。

松島さんは童謡や懐かしの歌謡曲など、ご利用者の青春時代の曲を多数用意してくれます。松島さんは特に古賀メロディ（作曲家古賀政男の作品）が大好きで、とても得意とのことでした。

6月17日（木）の歌の会では、「ふるさと」や「荒城の月」などが演奏されました。「ふるさと」は

ご利用者に人気があり、皆さん元気良く歌って楽しいひとときを過ごしました。

そして松島さんは、曲の背景などもとても詳しく解説しますので、ご利用者には分かりやすいと大変好評です。

また、松島さんが撮影した、季節に合わせた花々の写真が曲の合間などに披露されます。「近所を歩いていて気になったものをちょこっと撮影しているだけ。」とのことですが、こちらの作品も大変見応えがあり、耳だけでなく目でもご利用者を楽しませてくれます。

今後も素敵な歌の会を楽しみにしています。



＜曲の詳しい解説はご利用者に大人気＞  
※今回は他施設での写真を提供していただいています。

### サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03(3394)9833

FAX : 03(3394)9834

担当 : 眞田・水之江

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

[kamiigusa@3friends.or.jp](mailto:kamiigusa@3friends.or.jp)